



政治は生活を豊かにするツール!

# 八王子・生活者ネットワーク

2名の女性議員を持つローカルパーティ 3つのルール

- 1 議員は2期8年ローテーション
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に
- 3 選挙はカンパとボランティアで



〒192-0066 八王子市本町3-4 TRYビル3階 ■TEL: 042-623-8802 ■FAX: 042-627-4507 ■メール:hachiouji-net@nifty.com

提案アリ!

はつらつレポート NO.175 2020年7月20日号

発行責任者 : 川合幸子

## 新型コロナ自粛時に必要な情報は迅速に届きましたか? キープディスタンス、Withコロナ時代の暮らしに必要なしくみを考える

自粛期間中、学校や仕事、家庭のことなど不安や悩みを抱えている方も多くなっています。介護や医療の必要な人、貧困やDV問題を抱えた人などすぐに支援が必要な人に情報が届いていない、困った人の声が届かない状態もありました。今後に向けても災害時、緊急時の情報共有のあり方を検討し整えていくことが必要です。

### みなさんの声をもとに八王子市の新型コロナ対策への要望を提出しました。

#### ●新型コロナウイルス感染拡大防止による一斉休校についての請願 (教育長&市長あて) (3/5)

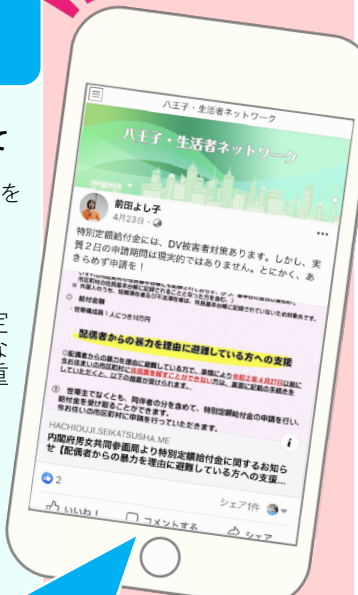
1. 準備期間のないまま休校決定した理由と決定プロセスの公開を
2. 学童保育所への職員増員等の支援を
3. 春休みまでの休校決定について期間短縮等、方針の再検討を

→ 3/14の教育委員会定例会で審議、請願結果は「不採択」腑に落ちない結果ではありましたが、国の要請の通りに決定をしてしまっていないか、現場の声を聞いて必要な検討がなされたのか、教育委員会という独立した組織の意思決定の重要性を問う機会となりました。

#### ●特別定額給付金事業に関する要望 (4/23) ※他の議員と連名

1. DV等被害者への給付について  
女性相談につなぐ等、被害者に寄り添った相談体制を
2. 外国人や障がい者他、配慮が必要な市民への対応について

#### ●ゴールデンウィーク中祝日の福祉相談開催と学校給食についての要望 (4/27)



八王子市の新型コロナ対策の最新情報をリアルタイムにHPとFacebookで発信し続けました!

## はつらつ4コマ 「リモート会議」



八王子・生活者ネットワークのSNSを活用してください。

オンラインで、前田よし子ときだあやの合同はつらつタイム (みなさんとの対話の場) も開催しています! これからも今まで以上に様々な手段を活用し、みなさんとのつながりを作っていきます!

みなさんのリアルな声を聞き、政策や提案をつくっていきます!

行政の施策や暮らしに必要な支援情報等を迅速に発信!

LINE LINE公式アカウントはじめました

お友だち登録はこちらから➔



LINEに登録!

「こすもす・だれでも食堂」は、7月で設立から丸4年が経ちます。「誰でもが集える居場所づくりをしたい」という思いから、パン&カフェというもすの休業日に店舗を借りて活動を始め、回数を重ねるごとに参加者が増え、安全な食事ができることはもとより、子どもたちの「機会」も大切にしています。一緒に食事をしたり、配膳をしながらかたり、ゲームをしながら話をする。そんな場面が自然に生まれ、世代を超えた触れ合いを続けていきたいと考えています。だからこそ、2月からの感染症拡大防止による通常開催休止が残念でなりません。けれども、「食堂再開のときに皆さんと笑顔でお会いしたい」と声があがり、すぐに届けたという思いから、まず有志で食料品を配る取り組みを始めました。必要とされる家庭へ、ドア



食料品配布準備の様子  
こすもす・だれでも食堂  
cosmos.everybody@gmail.com

チャイム越しの配達から始め、現在は仕分け場所での手渡しを含めて配っています。この取り組みを続けるのは様々な面において簡単ではありません。切実に支援を求めている人などのような方法で繋がる人などの課題もあります。食堂の再開を模索しながら、これからの居場所づくりにつないでいけるよう、「つながりを切らさない」で取り組んでいきます。  
こすもす・だれでも食堂  
伝刀涼子

世代を超えた交流ができる居場所づくり



きだあや  
Facebook



## きだあや

新型コロナウイルスによる感染症が拡大する中で、外出が減り介護をしている方の不安や負担が増えています。介護者は新型コロナウイルスに感染した場合、重症化するリスクがもっとも高い人々をケアしています。介護者自身が感染した時、高齢者、障がい者、子どもなどケアや保育が必要な人を受け入れる先がなくて不安だという声が多くあることから、市の取り組みについて質問しました。

## 介護者・介護事業者を支えるために

質疑動画はこちらから→



### 1. 高齢者等居場所確保事業

自分以外にケアする人がいない介護や子育てをする人が、新型コロナウイルス感染症の疑いや陽性になった時の、要介護者・子どもの居場所確保と、その実費を補助する制度が創設されました。保健所や関係機関と連携し対応するもので、もしもの時の支援として心強いものであると確認しました。

また、新型感染症以外の理由により介護が困難になったときに対応できる仕組みがあるのに、それを知らないために「どうしたらいいのかわからなくて不安」という声が多くありました。介護者が介護できなくなった時にどこに相談できるか、どうやってその状況を乗り越えられるのか分かりやすい情報発信を求めました。

### 2. 介護従事者の処遇改善

介護サービスの事業所は平時でも人手不足です。自粛期間中には、学校の臨時休業などにより出勤できない介護従事者などおり、人手不足に拍車がかかっていました。慣れない感染症対策。今後、第2波、第3波が起これば介護事業所が休業・閉鎖・縮小してしまつたら、今まで通りのサービスが受けられず要介護者の容態が悪化してしまいます。介護ニーズは増加しているのに介護者がいなくてサービスを受けられない介護崩壊がおきるかもしれません。介護従事者の処遇改善を求めました。

また、介護従事者に限らず、保育、教職員、医療従事者などおおぜいの人と接する仕事をする方には、希望をすれば検査を受けられる体制を求めました。

## 災害に備える

質疑動画はこちらから→



前田よし子  
Facebook



## 前田よし子

はつらつレポート173号にて、昨年の台風第19号の被害について取り上げアンケートを行い、地域のあちこちから広く声を寄せていただきました。一人ひとりが被害や避難のイメージを持って、シュミレーションできることが重要と考え、台風シーズンの前に質問しました。

### 1. 避難所開設と避難の基準

昨年の台風第19号時、本市では、当初24ヶ所、追加で12ヶ所の避難所を開設。検証の後の、「避難所開設の基準」について確認しました。

●地震の場合・・・震度6弱以上の地震発生で、全公的避難所135ヶ所を開設。

●風水害の場合・・・大雨特別警報が出た場合、40ヶ所の避難所を開設。

○風水害時の避難のポイントについて

①土砂災害を警戒しての避難のポイントは？

土砂災害ハザードマップ（事前確認）

気象と避難の情報

②浸水被害から逃れるための避難基準は？

ハザードマップで浸水予想区域50cm未満の方は、自宅の2階など安全が確保できる場所にとどまることも必要。

イメージを持って行動を！

◆避難所に行かないという選択もあり！

◆避難所で快適に過ごすための自己工夫を！（マスク、水、軽食持参など）

総合防災ハンドブックには重要な情報がたくさん入っています！

改定：洪水ハザードマップ（浸水予想区域）、感染症対策  
充実：情報収集手段、避難行動判定フロー  
改定版が全戸配布された後は「よみあわせ&シュミレーション」を行う計画です。



現行版

### ■意見書全会一致で可決！

「性犯罪に関する刑法のさらなる改正を求める意見書」の提案者として、提案説明を行いました。2017年改正で積み残された課題（暴行脅迫要件と公訴時効の撤廃、性交同意年齢の引き上げなど）を盛り込んだ形で、更なる改正を！八王子市議会として国、政府へ声をあげました。

### ■6月補正予算について

6月補正予算60億円には、新型コロナウイルス感染症関連の支援なども含まれており、その部分に対しては賛成ですが、そのうちの37億円を使いGIGAスクール端末の配備を前倒しするという部分に対しては、金額も大きく懸念事項も多く賛成できないため補正予算に反対しました。主な理由は右記の通りです。

### GIGAスクール端末の配備への課題

●遠隔オンライン授業を含め、可能性は大きく広がるが、GIGAスクール構想では1人1台端末を持ち、一人ひとりの習熟状況を教育ビッグデータとして収集・活用することも示されている。例えば、監視カメラの前で授業を受けているようなこと（視線や発話量を記録、分析）まで含まれている。問題あり！

●教師への負担軽減と言われているが、研修を行なうなど負担増になる。クラス人数の見直しや、教員の増員を考えるべき。

●まずは、子どもたちにどんな学びをさせたいかという議論が必要。教育ビッグデータの取り扱い等についても検討されたいうえで、端末を整備するという順番で進めていくべき。